

## リーダーシップ研修 実施報告書

【演題】医薬品の価値を最大化するためのバイオマーカー検討

～多様なメンバーでシナジーを発揮するチームの導き方～

【講師】田窪 亮子氏（中外製薬株式会社トランスレーショナルクリニカルリサーチ本部  
臨床薬理部バイオマーカーリーダー）

【日時】平成 30 年 10 月 26 日（金）16：00～17：30

【場所】岐阜薬科大学本部 大学院講義室

【参加者数】49 名（うち女性研究者 11 名）

岐阜薬科大学 45 名、岐阜大学 2 名、岐阜女子大学 1 名、アピ（株）1 名

講師はプロ職という、管理職ではあるが組織のマネジメントではなく、専門性を究めたサイエンス面のリーダーという立場にいる。管理職になった当初は研究プロジェクトを離れたマネージャー的な仕事も経験したが、研究を続けたいという気持ちもあり、サイエンス面で貢献するプロ職に転向した。

前半は講師が関わる研究紹介であった。バイオマーカー解析グループのバイオマーカーリーダーとして、患者試料をもちいた **Translational Research** の実施な

どを行っている。臨床薬理機能の紹介や、バイオマーカー解析グループの業務を紹介していただいた。近年は、企業においてもアカデミアに近い研究を行うことがあるということだった。

後半はリーダーシップについて、自身の経験をもとに話をしていただいた。

<企業におけるリーダーシップについて>自身の経験による苦労や、それにより得られたリーダーとしての役割に対する思考、考え方を話していただいた。

講師が率いるバイオマーカーグループには、非常に多く専門領域があり、それぞれに役割がある。多岐にわたる専門性を理解してひとつにまとめることに苦労があったという。それをどのように克服してきたか。①自分の熱意が伝わるように、進むべき道筋をはっきり示し、コミュニケーションを通してメンバーを一つにまとめていくことが一番重要だと考え、②同じ目的に向かうために、一人一人がリーダーシップを発揮できるよう、期待することを伝えたり、機会創出を意識した。③ビジョン実現に向けて努力するメンバーを支援して、④成功や貢献を適切に評価した。以上の4点を行うことでメンバーにやりがいを与えることができたと考えている、ということであった。

これらを行うためには、①知識・情報②俯瞰的な視野・視点③説得力④対人関係力、というスキルが必要だと実感している。スキルを獲得するために、取り組みやすいところから勉強をして知識や情報を得て、様々な専門性や立場を持った人々と関わることで、彼らの視点



やニーズを理解してきた。また、説得力を持つためには研究でプレゼン方法を学ぶとともに、熱意をもって話すことを意識して、場数を踏んだ。対人関係力は意識して努力するしかなく、相手を理解する気持ちも重要だと話された。

<グローバルチームを率いること> また、外国人がチームメンバーとなるのが増えてきたため、コミュニケーションや評価、決断や見解の相違などそれぞれ指標において各文化の違いがあることを知っておく必要がある。違いがある事を理解して、チーム内でルールを設定することが重要である。英語でのディスカッションなどで分からないことをうやむやにせず、自分だけでなくメンバーの理解を助けることがリーダーの役割であると言われた。これは、日本語でも言えることではないか。

<企業におけるマネジメント> マネージャーとリーダーは別物であり、補完関係にある。すなわち、リーダーとは「変化に対応して新しい道筋を示していく」者であり、マネージャーとは「リーダーが示した道筋に対して組織で達成していくために配分や管理をする」者である。企業ではリーダー兼マネージャーの役割を期待されることが多いが、両方こなすことは非常に困難であるため、自分はどちらのタイプか見極めることも必要である。

<企業におけるキャリア形成> 講師のキャリアを振り返りながら、キャリア形成について話をしていただいた。いつも目の前の仕事や課題に精いっぱい取り組んできたが、結果的に複数の専門性を獲得し、自信につながったという。グループマネージャーを経験し、組織の方向性や人員配置、予算配分などの視点を知ることができた。また、会社のキャリア研修において、「自分らしいキャリアの3要件」(高橋俊介氏による)や、節目を振り返る必要性を学んだという。

<ワークライフインテグレーション> ワークライフバランスという言葉は、ワークとライフが相反するものであるという考え方であり、どちらかに比重がかかるとどちらかがおろそかになり、両方バランスよくこなすことは難しいと感じてしまう。

一方、ワークライフインテグレーション(integration 統合、まとめ、など)。これからは、生活するように働き、働くように生活する、というようなワークとライフを統合的に考える働き方が重要となってくる。企業側から見ても、生産性が上がるであろうし、人材を確保できるというメリットがあるだろう。柔軟に働ける、仕事と家庭を両立できる、人生を豊かにできる、などのメリットがあるが、仕事が楽しく感じないと、オンとオフの切り替えがはつきりしない働き方をストレスと感じるデメリットもある。

<まとめ> リーダーシップやマネジメントは人それぞれのやり方があり、それでよい。人材の多様性を理解して受け入れること。その時々で真剣に取り組み経験したことが自分の財産(キャリア)になる。自分のドライバーを知る。そして、ワークとライフがインテグレーションしてくる中で仕事を楽しくすることも大事である。

比較的若くして管理職になり、マネジメント職を経験した後に専門性を深めるプロ職に転向し活躍を続ける講師によるお話であった。実際に経験してきたことを分かりやすく話してもらった。学生も多く受講していたが、大学教員にとっても腑に落ちるような有意義な研修内容であった。

## ロールモデル講演会に関するアンケート

回答数：38名（78%）

### 2. 本日のロールモデル講演会についてお答え下さい。

項目	回答数(人)
1. 非常に有意義だった	13
2. 有意義だった	22
3. あまり有意義ではなかった	1
4. 有意義ではなかった	0
5. 無回答	2



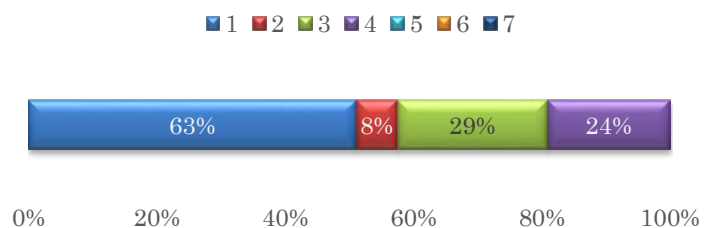
### 3. 2. でそのように答えた理由を教えてください。（自由記述）

- ・ リーダー研修として価値ある情報が得られた。
- ・ 他社の具体的な事例を聞いて参考になりました。
- ・ バイオマーカーを解析する様々な最近を聞くとともに、普段、大学の講義ではあまり聞かないようなお話を聞くことができ非常に有意義でした。
- ・ リーダーシップ研修は非常に新鮮だった。いつか、自分もリーダーシップを発揮しなくてはいけない場面があると思うので、リーダーシップを身につけたい。
- ・ 科学的視点とリーダーシップ視点と両社とも分かりやすかった。
- ・ リーダーシップをテーマにしたような講演に参加したことがなかったので、はじめて知ることも多くためになりました。
- ・ マネージャー、リーダー制度を自分のところでもつかおうかなと思いました。
- ・ 学生との距離が近い先生で良かった。
- ・ 実際の業務内容が知れて良かった。
- ・ 臨床薬理の話が長かった。臨床研究や開発に興味がある人には良いかもしれないが、リーダーシップ研修なのでk黄斑のキャリア形成やワークライフインテグレーションの話を中心に聞きたかった。後半はとても興味深い話だった。
- ・ ワークライフインテグレーションという新しい概念を学べたからです。
- ・ 様々な体験談を聞いたから。
- ・ ワークライフインテグレーションに関する話が大変参考になった。
- ・ 田窪先生の仕事のスケジュールが分かり、女性が家庭と仕事をどのように両立しているのか分かったから。
- ・ 自己啓発セミナーとしてとても考えさせられましたし、リーダーの素養だけでなく、マネジメントの素養も分けて知ることが出来ました。
- ・ 製薬会社の管理ポストの女性の働き方や業務内容について知ることができて参考になった。

- ・ 企業での働き方の一部を知ることができたから。
- ・ 製薬企業の仕事を詳しく知れる機会がなかったなので。臨床研究は今の自分の研究とは離れているので、あまり聞くことができない話をきけてよかった。
- ・ 中外製薬のことだけでなく、ワークライフバランスの大切さや働き方について深く学ぶことができたから。
- ・ BMの話が興味深かった。
- ・ 大学とは異なる企業での働き方を聞くことができ、おもしろく、新鮮だった。在宅勤務ができるのは、とてもライフとワークを上手にやっけていける方法だと思った。(職種にもよるかもしれない)
- ・ キャリア形成についての考え方について知ることができたため。企業におけるワークとライフのバランスについて話が聞けて良かったから。
- ・ リーダーシップについてなかなか聞く機会がなかったなので、具体的な克服法があった。
- ・ 視野が広がった (異なる業種、立場の視点からのお話を聞いたので)
- ・ 企業で“バイオロジーにもどって病気(病態)を知るところから”という原点に立ち返るアプローチの話が新鮮だった。
- ・ 内容に興味がある。

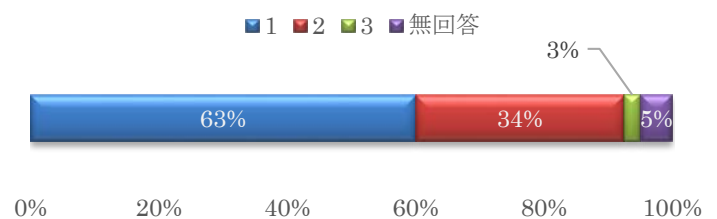
4. 今回のロールモデル講演会の開催をどのように知りましたか。(複数回答可)

項目	回答数
1. 岐阜薬科大学からの案内	24
2. ポスター等の掲示物	3
3. eメール	11
4. 関係者から聞いた	9
5. プロジェクト通信	0
6. ホームページ	0
7. その他	0



5. 今後もこのような催しに参加したいと思いますか。

項目	回答数
1. 参加したい	24
2. テーマによっては参加したい	13
3. 参加したくない	1
4. 無回答	2

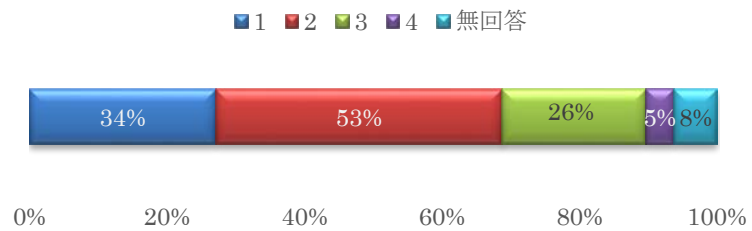


「テーマによっては参加したい」と答えられた方はどのようなテーマであれば参加したいとお考えですか。

- ・ 製薬企業内定者なので、これから社会人になるのに役立つようなテーマ。
- ・ 病院薬剤師として働きながら家庭を上手く両立していくための方法。
- ・ 病院薬剤師が行っている研究にはどのようなものがあるか。
- ・ どういった場所で働くか、適性や能力について
- ・ 薬剤師のキャリア形成について（企業、薬局、研究職など）
- ・ 最先端科学と技術に関するテーマ

6. 今後、どのような人の話を聞きたいですか。（複数回答可）

項目	回答数
1. 大学関係者	13
2. 企業関係者	20
3. 行政関係者	10
4. その他	2
5. 無回答	3



その他

- ・ 病院薬剤師（1）

7. 具体的に話を聞きたい人がいれば、名前を書いてください。

- ・ 今回の講義で紹介された高橋俊介氏（2）
- ・ バリー・シャープレス
- ・ 大垣市民病院の薬剤師の方

8. その他、感想やご意見、今後行ってほしい企画など、ご自由にお書きください。

- ・ 海外の研究者が日本の研究者と一緒に研究をした場合、良かったことや問題になったことなどを聞いてみたい。
- ・ 企業での働き方について知ることができました。ありがとうございました。
- ・ 若い人で頑張っている女性研究者の話を聞きたい。